

出産年齢世代を襲う

子宮頸がん

子宮頸がんは、女性の命を脅かし、命が助かった場合でも、出産の機会を奪われることがあるため、「マザーキラー」と呼ばれています。

子宮頸がんは検診によって、早期で症状のないうちに見つければ、子宮を温存し、将来の妊娠・出産の可能性を残すことができます。

子宮頸がんの原因のほとんどは、HPV（ヒトパピローマウイルス）というごくありふれたウイルスの感染であることがわかっています。HPV感染は、性交渉で感染するウイルスです。

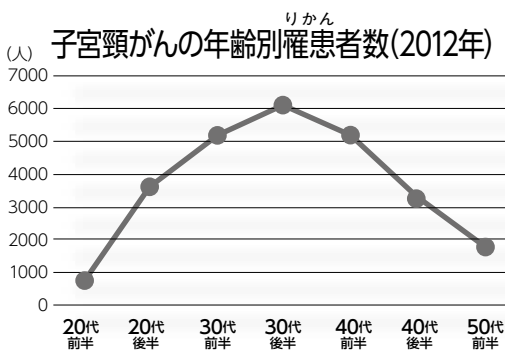
子宮頸がんは決して特別な病気ではなく、日本では約76人に1人が生涯かかる可能性があります。

【子宮頸がん検診】

表にあるように、子宮頸がんは20代、30代の女性でも発症します。発症のピークは30代です。現在、「出産年齢」のピークも30代です。つまり、子宮頸がんの発症のピークと出産年齢のピークが重なっているのです。

子宮頸がん検診は、柔らかい綿棒のようなもので子宮頸部の細胞を採取します。採取した細胞を観察し、異常がないか調べます。痛みはほとんどありません。

特に症状がないからこそ、20歳を過ぎたら、2年に1回、ぜひ子宮頸がんの検診を受けてください。



平成28年度 子宮頸がん検診日程表

実施日	会場	午前	午後
11月 1日(火)	保健センター	○	○
11月 8日(火)	本納公民館	○	○
11月10日(木)	保健センター	○	○
11月15日(火)	鶴枝公民館	○	○
11月21日(月)	五郷福祉センター	○	/
	保健センター	/	○
11月24日(木)	東部台文化会館	○	○
11月25日(金)	豊岡福祉センター	○	/
	保健センター	/	○
11月26日(土)	保健センター	○	○
11月28日(日)		○	○
12月 1日(火)		○	○

【受付時間】 午前の部 9時30分～10時30分
午後の部 13時～14時

子宮頸がん検診を実施



市では、子宮頸がん検診（集団検診）を実施します。
対象者 平成28年4月1日現在20歳以上の女性で、生まれ年が西暦で偶数年（大正・昭和で奇数年または平成で偶数年）の方※隔年（2年に1回）の受診となります。検査方法 子宮頸部細胞診／費用（検診一部負担金） 500円／受付時間 9時30分～10時30分、13時～14時／申込方法 希望日の10日前までに健康管理課（2階）まで。 ※対象者のうち、平成26年度に受診された方あるいは平成27年度にクーポン券を使用して受診された方には、受診票等を郵送しています。お申し込み・お問い合わせは、健康管理課（2階） ☎(20)1574、FAX(20)1600へ。

族基礎年金等を受給している方 ※すでに年金生活者等支援臨時福祉給付金（高齢者向け）を受給された方は対象外です。

◆申請方法

- ① 郵送による申請
 - ② 窓口での申請
- ※申請書の郵送をご希望の場合は、臨時福祉給付金事務室にお問い合せください。

◆申請場所・受付時間

- ① 臨時福祉給付金事務室（5階）
 - ② 本納支所
- ※①・②とも受付時間は、月～金曜9時～17時（祝日除く）

お問い合わせは、臨時福祉給付金事務室（5階） ☎(23)2156、FAX(20)1605へ。

善意をありがとうございます（敬称略）



・市へ

- ▽庭田 茂（金1万円）
 - ▽株大仁フラワーショップ
- はなも（生花 平成28年4月～9月毎週1台）